個別中間財務諸表の概要 平成15年6月期

上場会社名 株式会社インターネット総合研究所 コード番号 4741

(URL http://www.iri.co.jp)

代表者役職名 代表取締役 藤 原 洋 氏 名

問合せ先 責任者役職名 経 理 部 長 氏 名 五十嵐 弘子

中間決算取締役会開催日平成15年2月18日

平成-年-月-日 中間配当支払開始日

場 取 引 マザーズ 所 本社所在都道府県 東 京

TEL 03 - 5908 - 0711

中間配当制度の有無 右 単元株制度採用の有無 無

1 平成14年12月中間期の業績(平成14年7月1日~平成14年12月31日)

(1) 経営成績 (百万円未満切捨)

<u> </u>					(- 7 3 1 3 1 1 1 1 1 1 1	7777	
	売上高		営業利益		経常利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
平成14年12月中間期	304 (41.7)	296 (-)	320 (-)	
平成13年12月中間期	522 (4.2)	249 (-)	263 (-)	
平成14年6月期	1.541 (46.1)	174 (-)	192 (-)	

	中間(当期)純利益	1株当たり中間 (当期)純利益	会計処理基準
	百万円 %	円 銭	
平成14年12月中間期	2,089 (-)	50,787.82	中間財務諸表作成基準
平成13年12月中間期	561 (-)	14,146.19	中間財務諸表作成基準
平成 14 年 6 月 期	1,630 (-)	40,517.13	-

(注) 期中平均株式数 平成14年12月中間期 41,132.95 株 平成13年12月中間期 39,701 株 平成14年6月期 40,237.91 株

会計処理の方法の変更 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率 当中間会計期間より、1株当たり中間純利益は発行済株式から自己株式を控除して計算しております。

(2) 配当状況

<u> </u>		
	1株当たり	1株当たり
	中間配当金	年間配当金
	円 銭	円 銭
平成14年12月中間期	0 0	
平成13年12月中間期	0 0	
平成14年6月期		0 0

(3) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円 銭	
平成14年12月中間期	7,753	7,563	97.6	182,676.87	
平成13年12月中間期	11,129	10,776	96.8	265,727.16	
平成 14 年 6 月 期	9,730	9,628	99.0	234,660.61	

(注) 期末発行済株式数 平成14年12月中間期 41,405.85 株 平成13年12月中間期 40,555 株 平成14年6月期 41,030.00 株 期末自己株式数 平成14年12月中間期 1.83 株 平成13年12月中間期 - 株 平成14年6月期 3.68 株 当中間会計期間より、1株当たり株主資本は発行済株式から自己株式を控除して計算しております。

2 平成15年6月期の業績(平成14年7月1日~平成15年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	1,400	20	1,751	

(参考) 一株当たり予想当期純利益(通期)

42,569.28 円

上記予想に関する事項については、平成15年6月期中間決算短信(連結)の添付資料7~8ページを参照ください。

上記予想に関する事項については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在し ており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え てください。

中間貸借対照表

単位:千円

								1				型位:十円
					期	別	第7期 中間会計類	期間末	第6期 中間会計算	期間末	前事業年度の要約貸付	昔対照表
							(平成 14年 12月 31日	∃現在)	(平成 13年 12月 31	∃現在)	(平成 14年 6月 30日	現在)
科	目					/	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
								%		%		%
	(}	資 産	の	部)								
流		動		資	産							
1. 現	金	及	び	預	金		606,895		1,325,207		344,123	
2. 営	Ì	¥	未	ЧΣ	金		182,379		137,772		97,761	
3. そ			の		他		541,195		25,328		1,198,128	
流	動	資	産	合	計		1,330,470	17.2	1,488,309	13.4	1,640,014	16.9
固		定		資	産							
1. 有	形	固	定	資	産	1	66,814	0.9	76,927	0.7	69,568	0.7
2. 無	形	固	定	資	産		10,141	0.1	7,851	0.0	10,398	0.1
3. 投	資	そ σ.	他	の資	産							
(1)	投	資	有 信	西 証	券		722,751		2,683,048		714,911	
(2)	関	係 :	会	社 株	式		5,918,140		6,000,376		6,500,122	
(3)	出		資		金	2	507,696		571,462		545,099	
(4)	そ		の		他		250,920		353,180		250,154	
(5)	投	資 損	失	引当	金		1,053,737		-		-	
(6)	貸	倒	引	当	金		-		51,669		-	
投	資そ	· の fl	也の	資 産	合 計		6,345,772	81.8	9,556,398	85.9	8,010,288	82.3
固	定	資	産	合	計		6,422,728	82.8	9,641,178	86.6	8,090,255	83.1
資		産		合	計		7,753,198	100.0	11,129,488	100.0	9,730,269	100.0

単位:千円

	1				1	位:十円
期	別 第7期 中間会計期	間末	第6期 中間会計期	期間末	前事業年度の要約貸債	昔対照表
	(平成 14年 12月 31日	現在)	(平成 13年 12月 31日	∃現在)	(平成 14年 6月 30日	現在)
科目	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
		%		%		%
(負債の部)						
流 動 負 債						
1. 営業未払金	134,243		107,766		11,689	
2. そ の 他	54,397		102,900		88,334	
流動負債合計	188,641	2.4	210,666	1.9	100,023	1.0
固 定 負 債						
1. 繰 延 税 金 負 債	666		142,256		1,461	
固定負債合計	666	0.0	142,256	1.3	1,461	0.0
負 債 合 計	189,307	2.4	352,922	3.2	101,484	1.0
(資本の部)						
量 本 金 1	2,202,000	28.4			2,188,000	22.5
資本 剰 余 金	9,478,218	122.2			9,467,285	97.3
1. 資本準備金	9,478,218				9,467,285	
利 益 剰 余 金	4,109,906	53.0			2,020,854	20.8
中間(当期)未処理損失	4,109,906				2,020,854	
その他有価証券評価差額金	5,894	0.0			5,298	0.0
自 己 株 式	526	0.0			347	0.0
資 本 合 計	7,563,891	97.6			9,628,784	99.0
負 債 ・ 資 本 合 計	7,753,198	100.0			9,730,269	100.0
量 本 金 1			2,081,000	18.7		
資本準備金			9,451,666	84.9		
欠 損 金						
中間未処理損失			952,147			
欠 損 金 合 計			952,147	8.6		
その他有価証券評価差額金			196,046	1.8		
資 本 合 計			10,776,565	96.8		
負 債 ・ 資 本 合 計			11,129,488	100.0		

中間損益計算書

単位:千円

						İ		-						単位:十円
				期	別	第7期	月 中間会計期	間末	第6期	胡 中間会計期	間末	前事業年	度の要約損割	益計算書
		\				自平	² 成 14年 7月	1日	自习	² 成 13年 7月	1日	自 平	成 13年 7月	1日
						至平	² 成 14年 12月	31日	至平	² 成 13年 12月	31日	至平	成 14年 6月	30日
科						Ē	会額	百分比	3	È額	百分比	Ę	È額	百分比
								%			%			%
売		上		高			304,336	100.0		522,118	100.0		1,541,746	100.0
売	上		原	価			265,072	87.1		437,688	83.8		1,178,523	76.4
売	上	総	利	益			39,263	12.9		84,429	16.2		363,223	23.6
販売	も費及	びー	般管	理費			336,086	110.4		333,947	64.0		537,578	34.9
営	業		損	失			296,823	97.5		249,517	47.8		174,355	11.3
営	業	外	収	益	1		13,408	4.4		11,910	2.3		35,931	2.3
営	業	外	費	用	2		37,208	12.2		26,359	5.0		53,834	3.5
経	常		損	失			320,623	105.4		263,966	50.5		192,258	12.5
特	別		利	益	3		-	-		2,192	0.4		109,442	7.1
特	別		損	失	4		1,767,690	580.8		297,127	56.9		1,542,129	100.0
税引	前中間	(当	期)糾	損失			2,088,313	686.2		558,901	107.0		1,624,944	105.4
法及	人 税 び	事	住 民業	· 税 税		2,054			2,717			5,380		
	人 税	_				1,316	738	0.2	-	2,717	0.5	-	5,380	0.3
中目	間(当	期) 純	損 失			2,089,052	686.4		561,618	107.5		1,630,324	105.7
前	期約	喿 🏃	越 損	失			2,020,854			390,529			390,529	
中間	間(当期	阴) =	未処理	損失			4,109,906			952,147			2,020,854	

(中間財務諸表作成の基本となる重要な事項)

	T	T	1
期別	第7期 中間会計期間	第6期 中間会計期間	前事業年度
	自 平成14年 7月 1日	自 平成13年 7月 1日	自 平成13年7月 1日
項目	至 平成14年12月31日	至 平成13年12月31日	至 平成14年6月30日
	(1) 有価証券	(1) 有価証券	(1) 有価証券
及び評価方法	子会社株式及び関連会社株式	子会社株式及び関連会社株式	子会社株式及び関連会社株式
	移動平均法による原価法	同左	同左
	その他有価証券	その他有価証券	その他有価証券
	時価のあるもの: 中間決算末日の市場価格等に基	時価のあるもの:	時価のあるもの: 決算期末日の市場価格等に基
	では、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	同左	ブく時価法(評価差額は全部資
	直入法により処理し、売却原価は	192	本直入法により処理し、売却原
	は移動平均法により算定している)		価は移動平均法により算定して
	,		いる。)
	時価のないもの:	時価のないもの:	時価のないもの:
	移動平均法による原価法	同左	同左
2. 固定資産の	(1) 有形固定資産: 定率法	(1) 有形固定資産	(1) 有形固定資産
減価償却の方法	なお、建物については8~15年、	同左	同左
	工具器具備品については3~10年で		
	償却しております。 ② 無形用字姿音・ 字類は	(8) 無形用字次亲。 字短计	(6) 無以田宁洛辛
	(2) 無形固定資産: 定額法 自社利用ソフトウェアについては	(2) 無形固定資産: 定額法 自社利用ソフトウェアについては	(2) 無形固定資産 同左
	利用可能期間(3~5年)に基づく	利用可能期間(5年)に基づく定額	四生
	く定額法によっております。	対応可能が同じってデに塗りて定額 法によっております。	
3. 引当金の	(1) 投資損失引当金	(1) 貸倒引当金	
計上基準	関係会社への投資に対する損失に備	債権の貸倒れによる損失に備える	
	えるため、当該投資の回収可能性等を	ため、一般の債権については貸倒実	
	勘案し、その必要額を計上しております。	績率により、貸倒懸念債権等特定の	
		の債権については、個別に回収の可	
		能性を勘案し、回収不能見込額を計	
4. リース取引の	┃ ┃ リース物件の所有権が借主に移転	上しております。	
型型方法 処理方法	すると認められるもの以外のファイ	同左	同左
Z227174	ナンス・リース取引については、通	1-3-2-	1-3-2-
	常の賃貸借取引に係る方法に準じた		
	会計処理によっております。		
5. その他中間財務	(1) 消費税等の会計処理	(1) 消費税等の会計処理	(1) 消費税等の会計処理
諸表(財務諸	消費税等の会計処理は、税抜方式		消費税等の会計処理は、税抜方式
表)作成のための	によっております。なお、仮払消費	同左	によっております。
基本となる重要	税等および仮受消費税等は相殺のう		
な事項	え、流動資産の「その他」に含めて まテレスやいます		
	表示しております。 (2) 投資事業組合への出資金の会計処理	 (2) 投資事業組合への出資金の会計処理	(2) 投資重業組合への出資全の会計加田
	(2) 投資事業組合への出資金の会計処理 組合契約に規定されている決算報	(~)	(〜)
	告日に応じて入手可能な最近の決算	同左	同左
	書を基礎とし、持分相当額を純額で	13-	
	で取り込む方法によっております。		

(追加情報)

第7期 中間会計期間	第 6 期 中間会計期間	前事業年度
自 平成14年 7月 1日	自 平成13年 7月 1日	自 平成13年 7月 1日
至 平成14年12月31日	至 平成13年12月31日	至 平成14年 6月30日
	(金融商品に係る会計基準について) 金融商品については、当中間会計期間より、その他有価証券のうち時価のあるものの評価の方法について金融商品に係る会計基準(「金融商品に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成11年1月22日))を適用しております。 この結果、その他有価証券評価差額金196,046千円、固定負債(繰延税金負債)142,256千円が計上されております。	(金融商品に係る会計基準について) 金融商品については、当事業年度より、 その他有価証券のうち時価のあるものの評価 方法について、金融商品に係る会計基準 (「金融商品に係る会計基準の設定に関すする意見書」(企業会計審議会 平成11年 1月22日))を適用しております。 この結果、その他有価証券評価差額金 5,298千円、固定負債(繰延税金負債) 1,461千円が計上されております。
(貸借対照表関係) 1. 当中間会計期間から「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)を適用しております。これによる当中間会計期間の損益に与える影響は軽微であります。なお、中間財務諸表等規則の改正により、当中間会計期間におけて成しております。これに伴い、「自己株式」については、当中間会計期間より資本に対する控除項目として資本の部の末尾に表示しております。		(貸借対照表関係) 1. 「自己株式」については、財務諸表等規則の改正により当期より資本に対するる控除項目として資本の部の末尾に表示しております。 2. 財務諸表等規則の改正により、当期より、「資本準備金」は「資本剰余金」として表示しております。 3. 財務諸表等規則の改正により、当期より、「利益準備金」は「利益剰余金」として表示しております。 4. 財務諸表等規則の改正により、当期より、「当期未処理損失」は「利益剰余金」の内訳科目として「」を付して表示しております。

(中間貸借対照表関係)

第7期 中間会計期間	第6期 中間会計期間	前事業年度
平成14年12月31日現在	平成13年12月31日現在	平成13年6月30日現在
1 有形固定資産の減価償却累計額	1 有形固定資産の減価償却累計額	1 有形固定資産の減価償却累計額
41,073 千円	24,389 千円	33,249 千円
2 投資事業組合への出資金の評価 投資事業組合への出資については、 平成14年6月30日現在の中間組合決算	2 投資事業組合への出資金の評価 投資事業組合への出資のうち475,924 千円については、平成13年9月30日現在	2 投資事業組合への出資金の評価 投資事業組合への出資のうち455,576 千円については、平成14年3月31日現在
報告書に基づいて評価しております。	の中間組合決算報告書、95,537千円については、平成13年6月30日現在の中間組合決算報告書に基づいて評価しております。	の組合決算報告書、 89,523千円につい ては、平成13年12月31日現在の組合決 算報告書に基づいて評価しております。

(中間損益計算書関係)

		_		
第7期 中間会計期間	第6期 中間会計期間	前事業年度		
自 平成14年 7月 1日	自 平成13年 7月 1日	自 平成13年7月 1日		
至 平成14年12月31日	至 平成13年12月31日	至 平成14年6月30日		
1 営業外収益の主要項目 受取利息 1,935	1 営業外収益の主要項目 - 円 受取利息 627 千円	1 営業外収益の主要項目 受取利息 1,886 千円		
2 営業外費用の主要項目 組合損失 36,951	2 営業外費用の主要項目 - 円 組合損失 21,879 千円	2 営業外費用の主要項目 組合損失 47,948 千円		
3 特別利益の主要項目	3 特別利益の主要項目 	3 特別利益の主要項目 投資有価証券売却益 107,250 千円		
4 特別損失の主要項目 投資有価証券評価損 10,768 関係会社株式評価損 702,983 投資損失引当金繰入 1,053,733	· 円 投資有価証券評価損 89,591 千円	4 特別損失の主要項目 投資有価証券評価損 826,920 千円 関係会社株式評価損 625,076 千円		
5 減価償却実施額 有形固定資産 8,441 無形固定資産 1,057		5 減価償却実施額 有形固定資産 20,693 千円 無形固定資産 1,476 千円		

(リース取引関係)

第7期 中間会計期間 第6期 中間会計期間 前事業年度 自 平成14年 7月 1日 自 平成13年 7月 1日 自 平成13年7月 1日 至 平成14年12月31日 至 平成13年12月31日 至 平成14年6月30日 リース物件の所有権が借主に移転する リース物件の所有権が借主に移転する リース物件の所有権が借主に移転する と認められるもの以外のファイナンス・ と認められるもの以外のファイナンス・ と認められるもの以外のファイナンス・ リース リース リース (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却 (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却 (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却 累計額相当額及び中間期末残高相当額 累計額相当額及び中間期末残高相当額 累計額相当額及び期末残高相当額 単位:千円 単位:千円 単位:千円 有形固 無形固 有形固 無形固 有形固 無形固 定資産 定資産 合計 定資産 定資産 合計 定資産 定資産 合計 取得価額 取得価額 取得価額 63,474 7.205 70,679 78,684 7,972 86,656 69,700 7,205 76,906 減 価 償 却 減 価 償 却 減 価 償 却 累計額相当額 累計額相当額 46,293 4,648 50,942 44,938 3,942 48,880 累計額相当額 44,873 3,928 48,801 中間期末残高 中間期末残高 期末残高 17,180 33,745 当 28,104 相 2,557 19,737 4,030 24,826 3,277 37,776 相 当 額 相 当 貊 (2)未経過リース料中間期末残高相当額 (2)未経過リース料中間期末残高相当額 (2)未経過リース料期末残高相当額 1 年 内 13,969 千円 1 年 内 18,549 千円 1 年 内 16,565 千円 1 年 超 1 年 超 7,257 千円 21,320 千円 1 年 超 13,385 千円 合 21.227 千円 合 39.870 千円 合 29.950 千円 (3)支払リース料及び減価償却費相当額 (3)支払リース料及び減価償却費相当額 (3)支払リース料及び減価償却費相当額 支払リース料 9,505 千円 支払リース料 支払リース料 7,366 千円 22,790 千円 減価償却費相当額 8,442 千円 減価償却費相当額 6,547 千円 減価償却費相当額 20,246 千円 支払利息相当額 706 千円 支払利息相当額 735 千円 支払利息相当額 2,208 千円 (4)減価償却費相当額の算定方法 (4)減価償却費相当額の算定方法 (4)減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額 を零とする定額法によっております。

(5)利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額 相当額の差額を利息相当額とし、各期へ の配分方法は利息法によっております。

(5)利息相当額の算定方法

同左

同左

同左

(5)利息相当額の算定方法 同左

(有価証券関係)

当中間会計期間、前中間会計期間及び前事業年度における子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

(重要な後発事象)

第7期 中	間会計期間	第6其	明 中間会計期間	前事業年	 年度
自 平成14年 7月 1日		自平	成13年 7月 1日	自 平成13年	F7月 1日
至 平成14年12月31日		至平	² 成13年12月31日	至 平成14年	F6月30日
新株予約権の付与(スト	ックオプション)について	1 子会社について			
	18日開催の取締役会で		バルセンター・ジャパン株式		
•	ックオプション)の発行を決議		平成14年 1月24日にアジ		
	その内容は以下のとお		・クロッシング社と同社の株		
りであります。			る契約を締結しました。		
	11 16 1 7 14 -12	*	2月 8日開催の同社取締		
新株予約権の目的当			当社を引受先とする増資の た		
である株式の種類 6 お よ び 数 1		決議がされまし	た。 同社は当社の子会社となり		
発行する新株予約 6			Pのとおりであります。		
発行する新体で約 を権 の 総 数		S 9 S P I T I S CA	100000000000000000000000000000000000000		
新株予約権の無	僧	 増資について			
発行 価額			日 平成14年 3月22日		
新株予約権の平	成15年2月18日	当社出資			
発 行 日		出資後持分比			
	10022	事業内	容 データセンター事業		
付 与 対 象 者当	住の従業員12名				
··	込価額については、平		日 平成14年 3月26日		
新株予約権の成	15年1月の各日(取	当 社 出 資	額 203,900千円		
行使に際しての引		出資後持分比			
払 込 価 額く) の株式会社東京証券	事業内	容 同 上		
	引所における当社普通				
	式の普通取引の終値	買取契約につい			
,	以下「終値」)の平均		期 平成14年 3月29日		
	(計算の結果生じる1	譲受価			
· -	未満の端数は切り上げ)、または平成15年	買取後持分比事 業 内			
· ·	月18日の終値のいず	7 * 13	<u>т</u> 19 т		
	か高い金額により決定	 2 新株引受権の付	与 (ストックオプション)		
	nます。		年3月15日開催の臨時株主総		
		会の特別決議に	基づき、当社取締役および		
権利行使期間平	成17年 4月 1日から	従業員に対し、	商法第290条ノ19および当社		
	成22年 3月31日まで	定款6条の規定に	に基づき新株引受権の付与		
		(ストックオプ゚ション)を	行っております。		
			おりであります。		
		株式の種類	普通株式		
		式数	538株		
		付与対象者	当社の役員および従業員		
		権利行使期間	平成16年 5月 1日から		
		※ <i>─</i> /無 <i>─</i> 55	平成21年 4月30日まで		
		発行価額 	権利付与日の属する月の 前月の各日(取引が成立		
			しない日を除く)におけ		
			る証券取引所における当		
			社普通株式の普通取引の		
			終値の平均値とし、計算		
			の結果生じる1円未満の		
			端数は切り上げる。ただ		
			し、当該金額が権利付与		
			日の終値を下回る場合は		
			権利付与日の終値とす		
			ప .		
		i i	ī I		